

## 水文土石流モデルの広域予報および精度向上のために Development of Hydro-debris 2D model for larger area

\*山敷 庸亮<sup>1</sup>、大泉 伝<sup>2</sup>、ブルノ リベイロ<sup>1</sup>、黒木 龍介<sup>1</sup>

\*Yosuke Alexandre Yamashiki<sup>1</sup>, Tsutao OIZUMI<sup>2</sup>, Bruno Ribeiro<sup>1</sup>, Ryusuke Kuroki<sup>1</sup>

1. 京都大学大学院総合生存学館、2. 海洋研究開発機構

1. Earth & Planetary Water Resources Assessment Laboratory Graduate School of Advanced Integrated Studies in Human Survivability Kyoto University, 2. Japan Association of Marine-Earth Science and Technology

水文土石流モデル(Hydro Debris 2D)を用いて、2014年、2018年の広島土石流災害への適用を行った。広域予報と、限定された領域への再現計算には、様々な違いがあるが、本試みでは、両者をできるだけ統一的に処理し、実際に大きな被害をもたらす事象に対する適切な解析を行うことを目標としている。2018年広島災害において地質情報を入れることにより再現精度の向上が見られた。このようなアルゴリズムを用いた地質情報を元にした高解像度豪雨予測モデルをインプットとした予測モジュールの作成は、斜面災害の早期警戒に貢献すると考えられる。

キーワード：土石流、再現計算

Keywords: Debris flow, Hindcast